



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月31日

上場会社名 ファナック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6954 URL <http://www.fanuc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 CEO (氏名) 稲葉 善治
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 藤井 敬介 (TEL) 0555 (84) 5555
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日 配当支払開始予定日 平成28年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	257,108	△ 26.5	78,400	△ 38.4	81,254	△ 40.6	60,174	△ 34.5
28年3月期第2四半期	349,969	2.1	127,341	△ 7.9	136,829	△ 5.6	91,903	△ 2.6

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 26,422百万円(△67.5%) 28年3月期第2四半期 81,257百万円(△23.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	310.33	—
28年3月期第2四半期	469.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	1,480,317	1,307,260	87.9
28年3月期	1,512,895	1,334,910	87.8

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 1,301,312百万円 28年3月期 1,328,483百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	281.86	—	208.21	490.07
29年3月期	—	186.20			
29年3月期(予想)			—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 29年3月期の期末の配当金につきましては、公表が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	501,900	△ 19.5	134,700	△ 37.5	142,200	△ 38.0	104,100	△ 34.8	536.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.9「3. 注記事項に関する情報 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 29年3月期2Q 204,072,715株 28年3月期 205,942,215株

② 期末自己株式数 29年3月期2Q 10,208,182株 28年3月期 11,300,237株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 29年3月期2Q 193,904,637株 28年3月期2Q 195,638,606株

※ 四半期レビュー手続きの実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記述されている業績予想および将来予想は、主要市場における製品の需給動向、競合状況、経済情勢その他に不透明な面があり、実際の業績は見通しと異なる可能性があることをご承知おき願います。なお、平成29年3月期の期末の予想配当金につきましては、公表が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
3. 注記事項に関する情報	9
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	9
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	9
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

決算発表補足資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期における当社グループの業績は次のとおりです。

F A部門については、CNCシステムの主要顧客である工作機械業界は、中国において一時的な需要の増加により活発な動きが見られたものの、その他のアジアや欧州などにおいて厳しい状況が続きました。また、国内においても低調に推移しました。レーザについては、CO₂レーザ発振器の需要が減少するなか、ファイバーレーザ発振器を市場に投入し、拡販に注力しました。F A部門全体の売上高は前年同期に比べ減少しました。

ロボット部門については、海外では、中国向けの売上が前年同期に比べ増加し、また国内においても自動車産業向けを中心に堅調でした。一方で欧米の自動車産業等が設備投資の谷間であったことで、ロボット部門全体の売上は前年同期に比べ減少しました。

ロボマシン部門については、ロボドリル（小型切削加工機）においてI T関係の一時的需要が非常に好調であった前年上半期以降ほぼ終息に向かったため、売上は大幅に減少しましたが、自動車、二輪車部品加工市場などでその販路は着実に拡大しました。ロボショット（電動射出成形機）においても、I T関係の需要停滞に伴い売上は若干減少しましたが、二材成形オプションの市場投入などにより新たな販路の開拓に努めました。ロボカット（ワイヤカット放電加工機）においても売上は若干減少しましたが、大型機の市場投入など拡販に向けた整備を図りました。

このようななか当社グループは、「one FANUC」、「壊れない。壊れる前に知らせる。壊れてもすぐ直せる。」および「サービス・ファースト」をスローガンに掲げ、当社商品およびサービスについてお客様にご安心いただけるための取り組みをグループ一丸となって行うとともに、FIELD (FANUC Intelligent Edge Link and Drive) systemによるIoTへの対応を加速させるなど、今後の事業の安定と発展のための取り組みを推し進めました。

当第2四半期における連結業績は、売上高が2,571億8百万円（前年同期比26.5%減）、経常利益が812億54百万円（前年同期比40.6%減）、四半期純利益が601億74百万円（前年同期比34.5%減）となりました。

なお、部門別の売上高につきましては、F A部門が838億77百万円（前年同期比13.2%減）、ロボット部門が882億10百万円（前年同期比4.5%減）、ロボマシン部門が474億14百万円（前年同期比60.4%減）、サービス部門が376億7百万円（前年同期比8.9%減）でした。

※ [当四半期決算に関する定性的情報]における「四半期純利益」は、損益計算書における「親会社株主に帰属する四半期純利益」を指します。(当期純利益もこれに準じます。)

(2) 連結財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

資産合計は、前年度末比325億78百万円減の1兆4,803億17百万円となりま

した。主な減少は現金及び預金が515億34百万円となっております。

また、負債合計は、前年度末比49億28百万円減の1,730億57百万円となりました。

純資産合計は、前年度末比276億50百万円減の1兆3,072億60百万円となりました。

なお当社は、当社の株主還元方針（平成27年4月27日公表）に基づき、発行済株式総数の5%を超える自己株式（1,869,500株、133億79百万円）を平成28年6月8日付で消却いたしました。（本消却に伴う純資産合計額への影響はありません。）

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年度末比515億34百万円減の7,801億28百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前年同期比98億34百万円減の706億60百万円であり、これは主に税金等調整前四半期純利益が減少したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、前年同期比175億96百万円増の489億50百万円であり、これは主に有形固定資産の取得による支出が増加したことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、前年同期比429億28百万円減の540億56百万円であり、これは主に配当金の支払額が減少したことによるものです。

（3）連結業績予想に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は、不透明な状況が続いています。現時点における連結業績予想は以下のとおりです。

通期

（金額：百万円）

	前回発表予想 （平成28年7月 27日発表）	今回発表予想	増減率
売上高	508,800	501,900	△1.4%
営業利益	134,100	134,700	0.4%
経常利益	142,500	142,200	△0.2%
当期純利益	103,300	104,100	0.8%

注）平成28年10月から平成29年3月までの期間における為替レートは、平均100円/ドル、110円/ユーロを想定しております。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	686,662	635,128
受取手形及び売掛金	100,307	89,138
有価証券	145,000	145,000
商品及び製品	52,736	54,237
仕掛品	39,206	39,685
原材料及び貯蔵品	11,124	10,140
繰延税金資産	23,107	20,387
その他	16,196	16,432
貸倒引当金	△1,568	△1,348
流動資産合計	1,072,770	1,008,799
固定資産		
有形固定資産		
土地	131,800	131,309
その他(純額)	220,260	253,533
有形固定資産合計	352,060	384,842
無形固定資産	3,875	4,020
投資その他の資産		
投資有価証券	65,809	60,655
その他	18,382	22,002
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	84,190	82,656
固定資産合計	440,125	471,518
資産合計	1,512,895	1,480,317

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,815	26,726
未払法人税等	17,199	19,212
アフターサービス引当金	6,676	6,382
その他	57,426	49,903
流動負債合計	106,116	102,223
固定負債		
退職給付に係る負債	68,346	67,252
その他	3,523	3,582
固定負債合計	71,869	70,834
負債合計	177,985	173,057
純資産の部		
株主資本		
資本金	69,014	69,014
資本剰余金	96,206	96,206
利益剰余金	1,269,557	1,275,828
自己株式	△90,574	△90,500
株主資本合計	1,344,203	1,350,548
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,391	5,748
為替換算調整勘定	5,974	△30,111
退職給付に係る調整累計額	△26,085	△24,873
その他の包括利益累計額合計	△15,720	△49,236
非支配株主持分	6,427	5,948
純資産合計	1,334,910	1,307,260
負債純資産合計	1,512,895	1,480,317

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	349,969	257,108
売上原価	180,378	140,812
売上総利益	169,591	116,296
販売費及び一般管理費	42,250	37,896
営業利益	127,341	78,400
営業外収益		
受取利息	1,206	1,121
受取配当金	865	846
持分法による投資利益	6,030	5,254
雑収入	2,102	973
営業外収益合計	10,203	8,194
営業外費用		
為替差損	—	4,449
雑支出	715	891
営業外費用合計	715	5,340
経常利益	136,829	81,254
税金等調整前四半期純利益	136,829	81,254
法人税、住民税及び事業税	45,859	23,739
法人税等調整額	△1,373	△2,829
法人税等合計	44,486	20,910
四半期純利益	92,343	60,344
非支配株主に帰属する四半期純利益	440	170
親会社株主に帰属する四半期純利益	91,903	60,174

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	92,343	60,344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,688	1,357
為替換算調整勘定	△8,404	△28,476
退職給付に係る調整額	△1,212	1,212
持分法適用会社に対する持分相当額	1,218	△8,015
その他の包括利益合計	△11,086	△33,922
四半期包括利益	81,257	26,422
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	81,260	26,658
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	△236

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	136,829	81,254
減価償却費	10,248	10,695
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△513	△110
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,085	△60
受取利息及び受取配当金	△2,071	△1,967
持分法による投資損益 (△は益)	△6,030	△5,254
売上債権の増減額 (△は増加)	29,429	6,041
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,791	△8,203
仕入債務の増減額 (△は減少)	△14,632	3,894
その他	1,626	△312
小計	154,180	85,978
利息及び配当金の受取額	8,253	6,747
法人税等の支払額	△82,472	△22,030
その他	533	△35
営業活動によるキャッシュ・フロー	80,494	70,660
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△27,913	△48,453
その他	△3,441	△497
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,354	△48,950
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△260	△13,303
配当金の支払額	△96,108	△40,510
その他	△616	△243
財務活動によるキャッシュ・フロー	△96,984	△54,056
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,738	△19,188
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△55,582	△51,534
現金及び現金同等物の期首残高	991,236	831,662
現金及び現金同等物の四半期末残高	935,654	780,128

3. 注記事項に関する情報

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

- (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成28年5月27日開催の取締役会決議に基づき、平成28年6月8日付で、自己株式1,869,500株の消却を実施いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が2百万円、利益剰余金が13,377百万円、自己株式が13,379百万円それぞれ減少しております。

決算発表補足資料

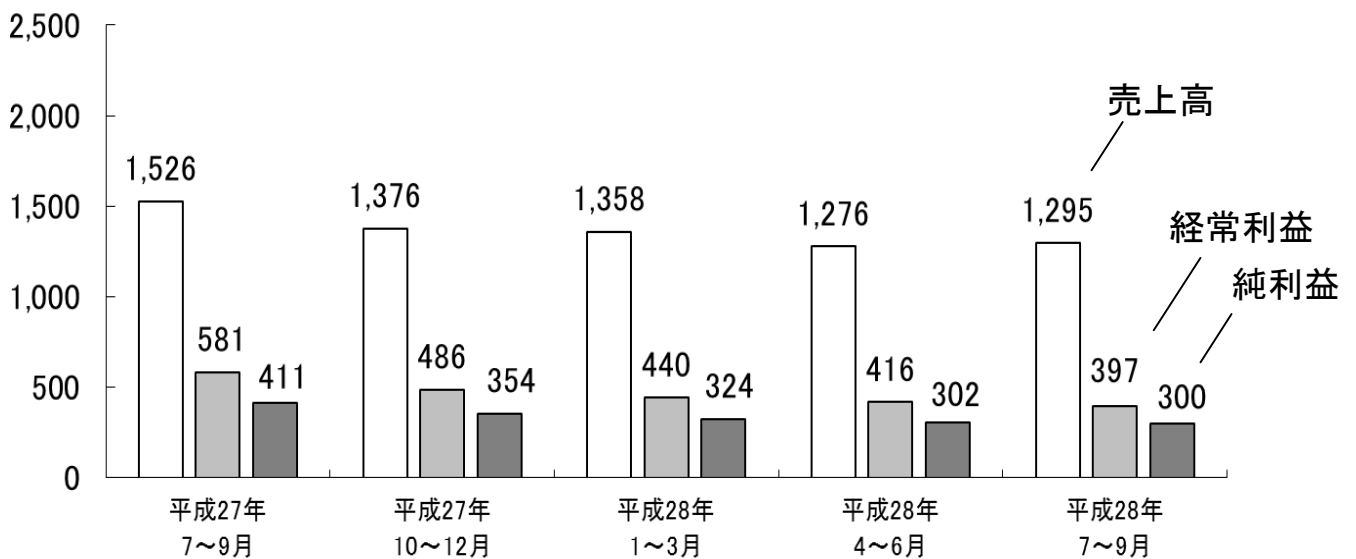
1 連結業績（平成28年4月～平成28年9月）

1) 純利益	602億円	(前年同期比 35%減)	
2) 売上高	2,571億円	(前年同期比 27%減)	
3) 営業利益	784億円	(前年同期比 38%減)	
経常利益	813億円	(同 41%減)	売上高経常利益率 31.6%
4) 部門別売上高			
F A	839億円	(前年同期比 13%減)	
ロボット	882億円	(同 5%減)	
ロボマシン	474億円	(同 60%減)	
サービス	376億円	(同 9%減)	
5) 受注高	2,690億円	(前年同期比 14%減)	

2 28年度通期業績予想

売上高	5,019億円	(前年比 20%減)
営業利益	1,347億円	(同 38%減)
経常利益	1,422億円	(同 38%減)
純利益	1,041億円	(同 35%減)

3 連結業績推移（単位 億円）



※ 本補足資料における「純利益」は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を指します。